

Summer School(Annual Report (2nd semester, 2017・1st semester, 2018) I Japanese Language Education)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00026314">https://doi.org/10.14945/00026314</a>

## 2018年静岡大学サマースクール

案野 香子

### 1. 目 的

サマースクール学生に対する日本語・日本事情の授業を行うことにより、受講生の日本語運用力を高めるとともに、静岡大学の学生をはじめとする日本人・各国留学生との交流を図り、相互理解を深める。

### 2. 実施期間

2018年6月25日(月)～7月11日(水)

(このうち6月25日(月)から7月11日(水)の修了式までは静岡大学が企画・運営を行い、7月12日(木)以降の自由行動は各協定校の責任で企画・運営を行う。)

### 3. 対象および受け入れ人数

韓国・朝鮮大学校 5名

### 4. レベル<sup>1) 2)</sup>

〈初級〉静岡大学作成日本語力判定テスト50点程度(日本語能力試験N3程度相当)

〈中級〉静岡大学作成日本語力判定テスト80点程度(日本語能力試験N2程度相当)

※日本語力判定試験は100点満点

<sup>1)</sup> 上記初級レベルに満たない日本語力、および中級レベルをはるかに超える日本語力をもつ学習者は受け入れない。特に後者の学生には、静岡大学への半年～1年の特別聴講生としての留学を勧める。

<sup>2)</sup> 静岡大学が渡日前日本語能力試験を作成、送付し、各大学において実施する。静岡大学にて採点し、テスト結果および選考結果を対象大学に送付する。

### 5. 費 用

2018年度徴収費用	全参加者
授業料	無料
宿舍費	22,380円+光熱費
雑費	26,000円
交通費	実費 <sup>4)</sup>
合計	48,380円+交通費および食費

朝鮮大学校は合意書に基づき、授業料免除とする。

雑費はホームステイ謝金3000円も含まれる。年度により変動する。

交通費(空港から静岡まで、宿舍から大学まで)および食費は実費。

旅行者傷害保険は別途本国で加入する。

## 6. 宿泊先

- 静岡大学国際交流会館（留学生寮 自炊可）  
〒422-8021 静岡市駿河区小鹿3丁目4-6  
大学までバスで15分（片道190円）、徒歩で25分
- ホームステイ 2泊3日 受入家庭 静岡市近辺の一般日本人家庭

## 7. 日程（予定）

6/25（月）	：静岡到着、ボランティア学生との対面など
6/26（火）	：授業開始・開校式・交流会
6/27（水）	：校外学習①
6/30（土）・7/1（日）	：自由行動
7/4（水）	：校外学習②
7/6（金）～8（日）	：ホームステイ
7/10（火）	：筆記試験
7/11（水）	：口頭発表会・修了式
7/12（木）～	：静岡出発・自由行動

## 8. 授業科目およびコマ数

日本語	19コマ（1コマは90分 計1710分）
日本事情	7コマ
ガイダンス	3コマ（宿舎・生活／授業／ホームステイ）
校外学習①②	2日

## 9. 修了証

サマースクール日本語授業に80%以上出席し、筆記試験を受け、口頭発表をした受講者に対して、授業への参加度および筆記試験とスピーチ発表の成績により、静岡大学国際交流センターより修了証書が出される。

## 10. 成績

成績評価は「秀」（90～100）、「優」（80～89）、「良」（70～79）、「可」（60～69）、「不可」（～59）とし、「秀」、「優」、「良」、「可」を合格、「不可」を不合格とする。

## 11. クラス

2クラス（来日前、国際交流センターから日本語能力判定試験問題を送付、その得点と来日後の聴解・会話力により2クラスに分ける。）

2018年 時間割

	6/25(月)	6/26(火)	6/27(水)	6/28(木)	6/29(金)	6/30(土)	7/1(日)
1・2	静岡空港 ↓ 静岡到着	ガイダンス	校外学習 ① 掛川方面	日本語②	日本語④	自由行動	自由行動
3・4		日本語①		日本語③	日本語⑤		
5・6		開校式		日本の遊び	フィールド ワーク 「静岡発見」		
7・8		ガイダンス 夕食 ボランティア と対面		歓迎会			

	7/2(月)	7/3(火)	7/4(水)	7/5(木)	7/6(金)	7/7(土)	7/8(日)
1・2	日本語⑥	日本語⑧	校外学習 ② 富士山方面	日本語⑩	日本語⑫	ホームステイ	ホームステイ
3・4	日本語⑦	日本語⑨		日本語⑪	日本語⑬		
5・6		ホームステイ ガイダンス		日本の食文化	茶道		
7・8					ホームステイ		

	7/9(月)	7/10(火)	7/11(水)	7/12(木)	7/13(金)	7/14(土)	7/15(日)
1・2	日本語⑭	日本語⑯ 最終試験		静岡出発 見送り			
3・4	日本語⑮	日本語⑰	日本語⑲ 口頭発表会				
5・6	浴衣の着付	日本語⑱	修了式				
7・8			お別れ会				

	クラスⅠ	クラスⅡ
①	会話力チェックとクラス分け	
②	ユニット1「はじめまして」	
③	ユニット2「いただきまーす」	
④	ユニット3「ちょっと買い物に」	ユニット3「ちょっと買い物に」
⑤	ユニット5「旅行大好き」	ユニット5「旅行大好き」
⑥	ホームステイのために	
⑦	ユニット10「日本の生活 高い？安い？」	
⑧	ユニット6「ペットと暮らす」	ユニット12「仕事、がんばります」
⑨	ユニット7「お元気ですか」	ユニット13「私の町は日本一」
⑩	ユニット12「仕事、がんばります」	ユニット14「ケータイ、持った？」
⑪	ユニット14「ケータイ、持った？」	ユニット15「結婚いろいろ」
⑫	ユニット15「結婚いろいろ」	ユニット18「楽しく 日本語」
⑬	ユニット16「大変だったね」	ユニット19「男と女—仕事と役割」
⑭	まとめ 発表準備	まとめ 発表準備
⑮	発表準備	発表準備
⑯	筆記試験	
⑰	発表準備	発表準備
⑱	発表準備	発表準備
⑲	発表会（スピーチ）	

使用教材：クラス1・クラス2『日本語おしゃべりのたね』スリーエーネットワーク

日本事情

- 6月28日（木） 日本の遊び
- 6月29日（金） 静岡発見（フィールドワーク）
- 7月5日（木） 日本の食文化と言葉
- 7月6日（金） 茶道（静岡大学茶道部との学生交流）
- 7月9日（月） 浴衣の着

校外学習①（6月27日水曜日）～掛川方面～

国際交流会館→掛川城→掛川花鳥園・昼食→駿府匠宿（手工芸）→国際交流会館

校外学習②（7月4日水曜日）～富士山方面～

国際交流会館→富士宮浅間大社→富士宮口新五合目→白糸の滝→高砂酒造→国際交流会館

## アンケート集計

日本語のクラス 日本語Ⅰ（初級） 3名 日本語Ⅱ（中級） 2名  
 〈授業について〉

Q1 三週間、いろいろな勉強をしました。授業は全体として満足できましたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	2	1			
日本語Ⅱ	1	1			

Q2 授業（①日本語の授業、②日本事情）について下の数字を使って評価してください。  
 またその理由やコメントを書いてください。

5 = 非常に良かった 4 = よかった 3 = 普通 2 = あまりよくない 1 = 全くよくない

### ①日本語の授業

a) テキスト

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	1	1	1		
日本語Ⅱ	1		1		

b) 先生

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	3				
日本語Ⅱ	2				

c) 授業内容

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	1	2			
日本語Ⅱ	1	1			

d) 教室

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	3				
日本語Ⅱ	2				

e) 発表会

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	1	2			
日本語Ⅱ	1	1			

### ②日本事情

a) 日本の遊び

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	2	1			
日本語Ⅱ	1	1			

b) 静岡発見（フィールドワーク）

	5	4	3	2	1
日本語 I	2	1			
日本語 II		2			

c) 日本の食文化と言葉

	5	4	3	2	1
日本語 I	3				
日本語 II		2			

d) 茶道

	5	4	3	2	1
日本語 I	2	1			
日本語 II	1	1			

e) 浴衣の着付け

	5	4	3	2	1
日本語 I	2		1		
日本語 II	1	1			

〈宿舎について〉

Q1：今回、国際交流会館に泊まりましたが、どうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	2			1	
日本語 II	1	1			

〈ホームステイについて〉

Q1：二泊三日のホームステイはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	3				
日本語 II	1		1		

〈日本での交流について〉

Q1：皆さんが日本で生活しているとき、いろいろな人が関係していました。日本での交流はどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	1	1	1		
日本語 II	2				

〈今は〉

Q1：日本人の話していることがわかる。

	よく	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語 I		1	2		
日本語 II	1		1		

Q2：話したいことを、日本語で話すことができる

	全部	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語 I			3		
日本語 II		1	1		

〈その他 全体の感想〉

Q1：この3週間の静岡大学サマースクールはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	3				
日本語 II	1	1			

〈総 評〉

今年は、授業を担当する非常勤講師が多く入れ替わり、サマースクールに新鮮な風が吹いたことが印象的であった。教師陣の熱心な指導と連携により、インタビュープロジェクトも滞りなく進み、2～3日以内に参加者全員それぞれが20名以上の静大生へのインタビューを終えることができた。また、日本人学生へのインタビューの過程において、逆に質問されることもあり、異文化をテーマにした小さなディスカッションに発展した例もあった。

インタビュープロジェクトのテーマは以下の通りである。資料は全て図式が入り、工夫されたものであった。

学生A 「日本の観光地」

学生B 「若者ことば」

学生C 「YouTube」

学生D 「漫画とアニメ」

学生E 「日本の学校文化」

発表会では、5名の教員たちと活発な質疑応答がなされ、発表者の学生たちも達成感を覚えたようであった。

毎年恒例の静岡大学学生によるサマースクールボランティア（略称：サマボラ）との交流も積極的になされた。朝鮮大学校学生が日本を訪れた後の夏休みに、サマボラ経験者が逆に韓国を訪れて交流を引き続き行うということもあった。サマボラをきっかけに国際交流に目覚め、将来の進路を考えるサマボラもいたことは成果の一つである。

今後は受け入れ大学を拡大し、サマースクールのより国際化を目指したいと思う。